

# 小見川河川整備事業について ～地域特性を考慮して～

村山総合支庁 建設部 北村山河川砂防課 技師 鈴木 拓也

## 小見川の地域特性について

### 河川の位置



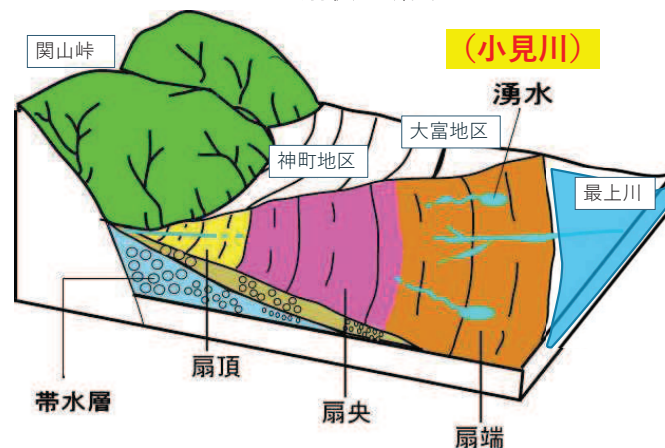
村山野川と乱川に挟まれた扇状地の末端部に位置する豊富な湧水を源とする河川

## 発表内容

1. 小見川の地域特性について
2. 河川整備の概要
3. 施工時の課題・対応
4. まとめ

## 小見川の地域特性について

### 扇状地断面

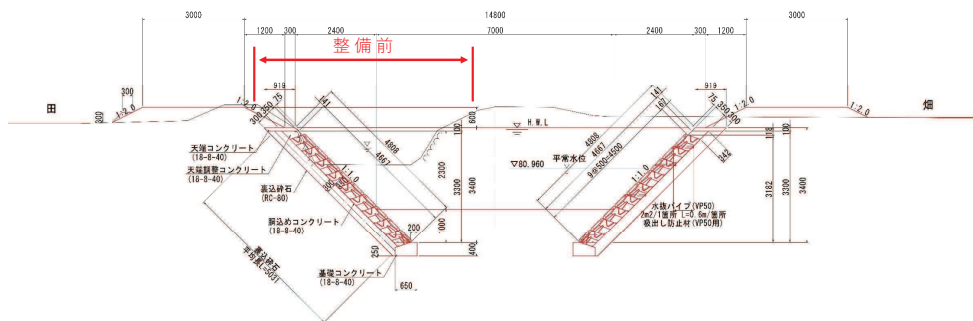


豊富な湧水  
(どんこ水)



## 河川整備の概要

整備実施区間における標準断面図



## 施工時の課題・対応

### 【地域特性】

地下水が豊富 = 地下水位が高い

### 【課題】

安全に掘削を実施できるか？

→ 試験堀の実施

※令和5年に実施

## 河川整備の概要

整備前

整備イメージ

整備後



- ・ 橋梁の架け替え
  - ・ 排水樋門の設置
  - ・ 取水施設の改築
- ⇒ 機能を補償

## 施工時の課題・対応

掘削勾配 1 : 1.0





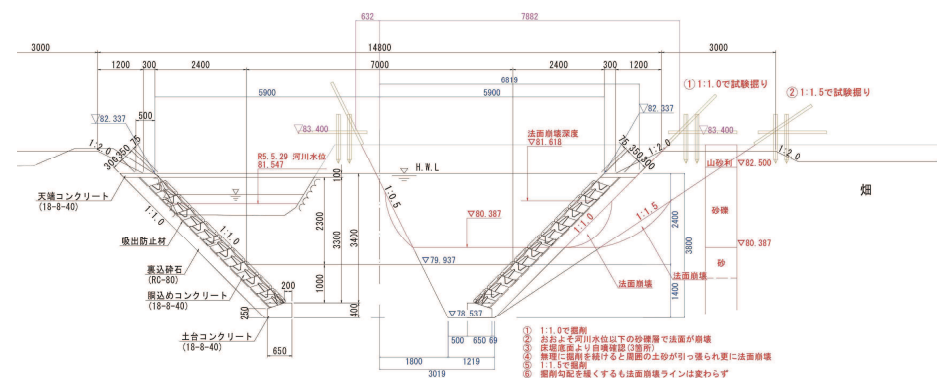
## 施工時の課題・対応

掘削勾配 1 : 1.5



## 施工時の課題・対応

試験掘りの結果 → 掘削法面が崩壊



## 施工時の課題・対応

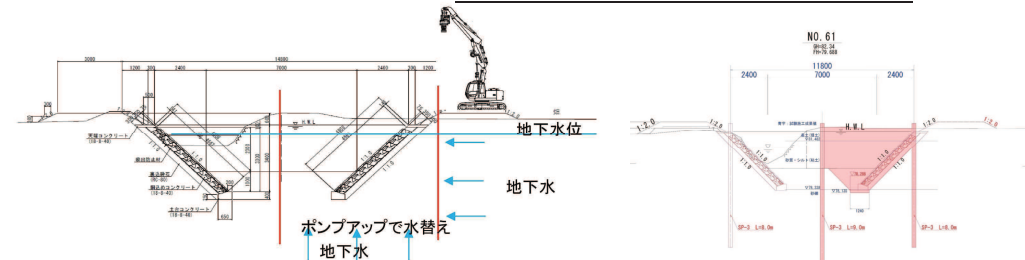
湧水の状況



## 施工時の課題・対応

課題に対する対策案

→ 鋼矢板による止水兼用土留め



- ・仮設工の大幅な変更（費用増）
- ・実際の効果がわからない。

→ 試験施工を実施



## 施工時の課題・対応

試験施工の実施状況

※令和5年に実施



四方を囲み鋼矢板を設置



実施計画と同様に掘削

## 施工時の課題・対応

令和7年度施工区間の実施状況



鋼矢板打込み後の状況



コンクリートブロック積状況

## 施工時の課題・対応



試験施工の結果

地下水の影響を抑えられた。  
掘削法面崩壊を抑えられた。



→ 鋼矢板による仮設工を採用

## 施工時の課題・対応

【その他】

課題：施工延長が長く、工期に余裕がない。

※国補正の繰越予算  
※5カ年加速化の最終年度

- 隣接する地権者からご協力をいただき、作業ヤードを確保。  
(工事車両の動線確保、残土の曝気)  
2～3班体制での施工を実施。
- 現場打ちからプレキャスト基礎ブロックへ変更。



【効果】  
工程の短縮



工事区間内における複数班体制による同時施工状況

## 施工時の課題・対応

### 【その他】

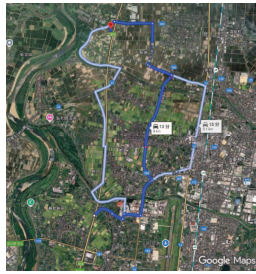
課題：仮設工増に伴う工事費のかかり増し

→ 工事箇所からより近い残土受入地へ変更

※北村山管内における圃場整備事業と調整



当初運搬先  
L=32.2km



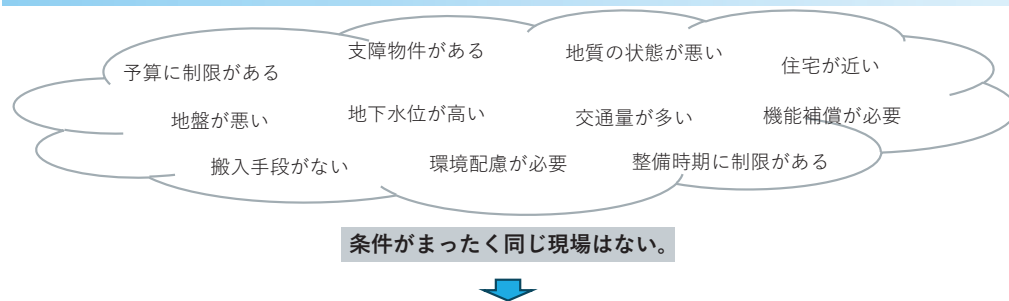
変更運搬先  
L=8.0km

### 【効果】

- ・ 運搬費を削減  
→ かかり増した費用の補填
- ・ 運搬時間の軽減  
→ 工程の短縮

ご清聴ありがとうございました。

## まとめ



地域をよく知り、課題に対して適切に解決していくことが大切。

～築土構木の実践～

